



報道機関各位

令和5年12月4日  
北九州市環境局

## 響灘地区で地域の原料を活用したメタネーション実証事業が開始

本市では、2050年ゼロカーボンシティを宣言するとともに、2030年度までに温室効果ガスを47%以上削減（2013年度比）する目標の達成に向け、脱炭素社会の実現に向けた取組を産学官連携の下で推進しています。

昨年9月、本市と西部ガス株式会社は、「カーボンニュートラル実現に向けた連携協定」を締結し、熱需要の低・脱炭素化に向けた取組みの一つとして、「メタネーション<sup>※1</sup>技術の利活用推進」に取り組むこととしています。

この度、環境省事業<sup>※2</sup>の採択を受け、西部ガス株式会社を代表とする複数の事業者が、北九州市響灘地区において、地域の「再生可能エネルギー」、「水素」及び「二酸化炭素」を有効活用して、都市ガス原料の主成分である「メタン」を合成し、コスト低減や環境価値提供の検討を行う実証事業を開始することになりましたので、お知らせします。

※1 水素と二酸化炭素から都市ガス原料の主成分であるメタンを合成する技術。

合成されたメタンも、燃焼時に二酸化炭素を排出するが、原料に排ガス等から回収した二酸化炭素を使用するため、大気中の二酸化炭素量は実質増加しない。

※2 環境省「令和5年度 地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」

### 記

#### 1 実証期間

令和5年度～令和7年度（設備の完成・稼働は、令和7年7月頃を予定しております。）

#### 2 実証事業の詳細

添付資料をご参照ください。

#### 【問合せ先】

環境局グリーン成長推進課

担当：福田、渡辺（TEL：093-582-2286）